



Super GT Round 4
Fuji Speedway
2024/08/03-04

General Comments :

今大会は前半戦を締めくくるレースとなるため、ここでは多くのポイントを稼ぐ必要がありました。また、ここまでマシンが上手く機能せず苦しい戦いが続いていたので、上位を狙って粘り強い走りを見せたいと強く思っていました。

Qualify : P6

路気温が急激に上昇した事でダウンフォースが減少する恐れがあり、予選前にチームとドライバーで話し合いを行い、セットアップをいくつか変更して予選に挑みました。Q1は平峰が担当。今回の様な熱いコンディションではタイヤを丁寧に熱入れする事が大切だったので、そこを意識して無駄な動きをしてタイヤのグリップを使わないようにスムーズな走りを心掛けました。そして、アタックラップ自体も大きなミスもなく、最後まで集中して走り切りQ1は4番手タイムをマーク。トップ3台はCIVIC勢が独占しており、かなり手強い状況でした。Q2を担当したBaguette選手も、マシンのバランスとアタックのタイミングだけ伝え、マシンのパフォーマンスを最大限に引き出してくれました！結果は6番手で終え、表彰台を狙える位置から決勝をスタートできる事となりました。

350km Race : P5

いつも通りBaguette選手がスタートを担当。Baguette選手はスタートした瞬間の加速が絶妙に上手く、T1では5番手の車両をパスしてくれました。そのまま、何とか5番手を走行し続けていたのですが、ストレートスピードがとてつもなく速い14号車に抜かれ、6番手に後退。長いストレート区間がいくつもあるこのサーキットでは無す術がありませんでした。しかし、Baguette選手は後退してしまった後も何とか前に食らいつこうと必死に走り、ラップタイムをキープしつつ燃費にも気を遣って周回を重ねました。そして、35周目を終えて自身に交代。硬めのタイヤを選択してピットアウトしたのですが、T1へ進入した瞬間に思った以上にタイヤがグリップしていたので、自身を持ってタイヤを更に温めるよう工夫出来ました。背後から直ぐに24号車が迫っていましたが、ブロックして抑えきりそのままペースを上げていきました。チームからも「ペースは良い。このまま行けば6番手と5番手に追いつけるかもしれない！」と無線が入り気持ち的にもかなり興奮してZONEに入っているような気分でした。最後まで攻め続けながら300のトラフィック等も上手く使い、最終的には5位でフィニッシュ。レース中はCIVIC勢と争う事が多く、彼らのストレートスピードは恐ろしく速かったです。その影響でオーバーテイクに至るまで、想像以上に時間がかかってしまいました。ですが何とか5位で終えてポイントも持ち帰る事が出来たのでホッとしました。



強い気持ちが大事

スポンサーの皆様、第4戦富士の応援有難う御座いました！

今大会の前にSuper耐久 第3戦がオートポリスで行われ、決勝中に大きなクラッシュを起こしてしまいました。

初めて自分自身で引き起こした大きなクラッシュで、正直なところ気持ち的にも苦しい思いがありました。プロとして気持ちの切り替えも出来ないといけないのは分かっていますが、チームに対する申し訳ない思いが強くなり、複雑な気持ちでした。

今大会に関しては、勿論優勝ではないので喜べませんが、トラブルを抱えながらも全てを出し切ったレース。

そして、沢山の気持ちが入り混じったこのレースを無駄にしないよう、これからも努力を続けていきます！！

引き続き、応援の程宜しくお願い致します。





NISSAN nism

BRIDGESTONE

Vaffinéo

K's Design

AK





Panasonic AUTOMOTIVE

Panasonic AUTOMOTIVE

FUJI GT350KM RACE FINAL

FUJI SPEEDWAY ENJOY! MOTORSPORTS

ADVAN ADVAN

POTA



12

40
NISMO

Mobil 1

Mobil 1

NISMO

BRIDGESTONE

IMPUL

Nihon
Mobility Service

Sabelt

SUGIZAKI

COOL

IMPUL

Nihon
Mobility Service

MARELL

12

NTS

POTENZA

ROCHUFENEX

Z

B

B

TOYO

NOBES

EDGE

